

785. Banach 空間が regular = ナルタメノ條件

角谷 静夫 (阪大)

Banach 空間 E が regular であるト云フノハ、
 $E = \overline{\overline{E}}$ トナルコト。即チ E / conjugate space \overline{E}
ヲ定義サレタ任意ノ bounded linear functional
 $F(f)$ が適當ニ $x \in E$ ヲトレバ

$$F(f) = f(x) \quad \text{for all } f \in \overline{E}$$

ト云フ形ニ表ハサレルコトデアアル。Banach 空間が
regular = ナルタメノ條件ハ Banach, Golds-
tine, Pettis, Gantmakher, Šmulian, Bour-
baki, Milman 等ニヨツテ論ヅラレテキル。コレラ
ノ人々ノ結果ハ何レモ断片的ノモノガ多ク、若ハ非常ニ固
白クテモ、マトマツタ結果ガ出テキツイウデアアル。次ニ

コレヲノ條件ヲ、統一的ニ論ジテ見、コレニヨツテコノ方面ノ見通シガハッキリスル様デアル。主ト考ヘハ Banach 空間ノ weak topology ヲ使フトコト⁽¹⁾アル。weak topology ヲ使ヘバ形式的ニ transfinite + 議論ヲ避ケ得ラレル便宜ガアル。

最初ニ以下ノ議論ニ必要ト定義ヲ與ヘル。

Banach 空間 E ニ於ケル weak topology (element トシテノ weak topology). 任意ノ $x_0 \in E$ ニ對シテ、 \forall ノ近傍 $\cup (x_0; f_1, f_2, \dots, f_n, \varepsilon)$ ニ $|f_i(x_0) - f_i(x)| < \varepsilon, i=1, 2, \dots, n$ ヲ満足スル $x \in E$ 全体トシテ定義サレル。但シ $f_1, f_2, \dots, f_n \in E, \varepsilon > 0$ デアアル。

Conjugate space \bar{E} ニ於ケル weak topology (functional トシテノ weak topology). 任意ノ $f_0 \in \bar{E}$ ニ對シテ、 \forall ノ近傍 $\cup (f_0; x_1, x_2, \dots, x_n, \varepsilon)$ ニ $|f_0(x_i) - f(x_i)| < \varepsilon, i=1, 2, \dots, n$ ヲ満足スル $f \in \bar{E}$ 全体トシテ定義サレル。但シ $x_1, x_2, \dots, x_n \in E, \varepsilon > 0$ トスル。

\bar{E} ニ於テハ又 element トシテノ weak topology ガ定義サレル。即チ任意ノ $f_0 \in \bar{E}$ ニ對シテ \forall ノ近傍 $\cup (f_0; F_1, F_2, \dots, F_n, \varepsilon)$ ヲ $|F_i(f_0) - F_i(f)| < \varepsilon, i=1, 2, \dots, n$ ヲ満足スル $f \in \bar{E}$ 全体トシテ定義スルベヨイ。但シ $F_1, F_2, \dots, F_n \in \bar{\bar{E}}$ デアアル。

(1) 前々号ノ談話参照。

コノニツノ weak topology ハ必ずシモ一致シナイ。

定理 I コノニツノ weak topology が一致スルタメニ必要且ツ十分ノ条件ハ E が regular ナルコトデアール。

証明 十分ノコトハ明カデアアルカラ必要ノコトガケ証明スル。今コノニツノ topology が一致スルトシ、任意ノ $F \in \bar{E}$ アトシ。 $F(f) = 0$ ナル如キ $f \in \bar{E}$ 全体ノ集合ヲ Γ トナレバ Γ ハ \bar{E} ノ部分集合ア \bar{E} ノ element トシテノ weak topology ア閉ガテホル。ヨツテ假定ニヨリ、 Γ ハ E - 於ケル functional トガ Γ ノ weak topology ア閉ガテホル。

ヨツテ前々号ノ結果ヨリ Γ ハ又 E - 於ケル functional ノ集合トシテ regularly closed アアル。故ニ任意ノ $f_0 \in E$, $f_0 \in \Gamma$ = 對シテ $f_0(x_0) = 1$, $f(x_0) = 0$ for any $f \in \Gamma$ ナル如キ $x_0 \in E$ が存在スル。今 f_0 トシテ $F(f_0) = 1$ ナラシメル $f_0 \in \bar{E}$ アトシバ (カナル f_0 ハ $F = 0$ デナケレバ必ず存在スル)

任意ノ $f \in \bar{E}$ = 對シテ $F(f - F(f)f_0) = 0$ 。ヨツテ $f - F(f)f_0 \in \Gamma$ 。故ニ x_0 ノ定義ヨリ $f(x_0) - F(f)f_0(x_0) = 0$ 然ルニ $f_0(x_0) = 1$ アアツタカラ $f(x_0) = F(f)$ 。コレハ任意ノ $f \in \bar{E}$ = 對シテ成立シ、且ツ F ハ任意ノ \bar{E} ノ element アアツタカラ $E = \bar{\bar{E}}$ 、即チ E ハ regular アアル。

定理2 Banach space E が regular ならば
 $\bar{E} = E$ であるための必要且つ十分条件は E が $\bar{E} = E$ となる
 functional の weak topology によって開である
 ことである。

証明: 必要のことのみ。十分の証明は
 後述。

1° E の \bar{E} , linear subspace であるから
 weak topology によって開であるならば \bar{E} は regularly
 closed である。(前号の結果より) よって $F \in \bar{E}$
 が E に属しないならば $F(f_0) = 1$, $f_0(x) = 0$ for any
 $x \in E$ となる。これは矛盾である。(2)

2° Idelly の定理⁽³⁾ により任意に $F \in \bar{E}$ に対して
 任意の $f_1, f_2, \dots, f_n \in \bar{E}$ 及び $\varepsilon > 0$ に対して

$$F(f_i) = f_i(x), \quad i=1, 2, \dots, n;$$

$$\|x\| < \|F\| + \varepsilon$$

となる $x \in E$ が存在する。これは F の如何なる weak
 neighbourhood にも E の元が存在するを示す。こ
 のことから E が $\bar{E} = E$ となる weak topology によって開であ
 るならば $F \in E$ 。即ち $\bar{E} = E$ となる。□

(2) 即ち E の \bar{E} となる bounded linear functional
 の集合は total である。この証明は
 Banach: Theorie des Operations linéaires,
 117 頁 remark による。

(3) 前号の談話参照。

Goldstine の結果⁽⁴⁾ハコノ 2°ト殆ンド同ジデアアル。

Goldstine ハ E ガ regular = +ルタメニ必要且ツ十分ノ条件ハ E ガ δ -weakly complete +ルコトデアアルコトヲ証明シタ。(δ -weakly completeness = 関シテハ私ノ位相数学第一卷第一号ノ寄者ヲ参照) Goldstine ノ δ -weakly completeness ハ結局 weakly closed ト同ジコトデアアル。 weak topology ヲ用ヒタガフント分リ易ク +ル様デアアル。 シカモ Goldstine ハ Idelly ノ定理ヲ使ハ +カツタノテ証明ガ非常ニ面倒ニ +ツテキル。 Idelly ノ定理ヲ使ヘバ殆ンド明カニコトト +ツテシマフノデアアル。 シカシ Goldstine ガソノ証明ノ途中ニ用ヒタ考ヘ方ハ +カニ面白イ。⁽⁵⁾

Bourbachi⁽⁶⁾モ同様ノ結果ヲ述ベテキル。 Bourbachi ハ weak topology ヲ使ツテキルガ (H. Cartan x A. Weil ノ所謂 filtre ノ形デ)。 compact (實ハ

(4) Goldstine: Weakly complete Banach spaces, Duke Math. J. 4. (1938), 125-131.

(5) Goldstine ハ $F \in \bar{E}$ ト任意ニ $f_1, f_2, \dots, f_n \in E, \varepsilon > 0$ ヲ與ヘキトキ $|F(f_i) - f_i(x)| < \varepsilon, i = 1, 2, \dots, n,$
 $\|x\| \leq \|F\|$ +ル如キ $x \in E$ ガ存在スルコトヲ証明シテキル。
 Idelly ノ定理トノ違ヒニ注意!

(6) Bourbachi: Sur les espaces de Banach, C. R. Paris, 206 (1938), Nr. 23.

bicompact) ト云フコトニ重急ヲオイテキルヲソイ。(17)
 実際 \bar{E} ハ $E =$ 於ケルアラユル linear functional,
 集合デアアルカラ weak topology デハ locally bi-
 compact ニナル。(Tychonoff ト同ジ考ヘテ)。ヨ
 ヅテ $\bar{E} =$ 於テ閉チテキル E ハ又 locally bicompact
 ニナルノデアアル。

コノ bicompactness ヲ使フト又イロイロ面白イコト
 が出ル様デアアル。Milman⁽⁸⁾ノ方法ニ weak topology
 ト云フコトハ explicit ニ云ツテタイガ、結局コノ bi-
 compactness ヲウツク使フノデアアル。

定理 3⁽⁹⁾ Banach space E ガ separable
 デ且ツ locally weakly compact ナラバ E ハ re-
 gular デアル。

証明: $\bar{E} =$ weakly dense ナ集合ヲ $f_1, f_2,$
 \dots, f_n, \dots トセヨ。 $F \in \bar{E}$ ガ任意ニ與ヘラレタトキ
 locally 1 定理ニヨリ

$$F(f_i) = f_i(x_n), i=1, 2, \dots, n; \|x_n\| < \|F\| + \frac{1}{n}$$

(17) 註ニイ証明ガタイノデアカラタイガ。

(8) Milman: On some criteria for the regularity of spaces of type (B), C.R. URSS. 20 (1938), no. 4. 243-246.

(9) S. Banach: 189頁 Banachノ証明ハ大ヘン面倒デアアル。シカニ transfinitely closed ト云フ考ヘヲ使ツテキル。

上ル如キ $x_n \in E$ が存在スル。 E は *locally weakly compact* ナル故 $\{x_n\}$ ノ部分列 $\{x_{n_i}\}$ が存在シテ $x_{n_i} \rightarrow x_0 \in E$ (*weakly*) トナル。コノ x_0 ハ明カニ

$$F(f_i) = f_i(x_0), \quad i = 1, 2, \dots, n, \dots$$

ヲ満足スル。次ニ

$$F(f) = f(x_0)$$

が任意ノ $f \in \bar{E}$ ニ對シテ成立スルコトヲ証明シヨウ。

コノタメニハ任意ノ $f_0 \in \bar{E}$ ヲ取り $\{x_n\}$ ノ代リニ $\{x'_n\}$

$$F(f_i) = f_i(x'_n), \quad i = 0, 1, 2, \dots, n;$$

$$\|x'_n\| < \|F\| + \frac{1}{n}$$

ニヨリ定メル。 ($i=0$ ヲ含メテキルコトニ注意) コノ $\{x'_n\}$

カラ部分列 $\{x'_{n_i}\}$ ヲエラビ $x'_{n_i} \rightarrow x'_0 \in E$ (*weakly*)

トナル。

$$F(f_i) = f_i(x'_0), \quad i = 0, 1, 2, \dots, n, \dots$$

トナル。ヨツテ又

$$f_i(x'_0) = f_i(x_0), \quad i = 1, 2, \dots, n, \dots$$

然ルニ $\{f_i\}$ ハ \bar{E} ニテ *weakly dense* ナラバツキカラ

$x_0 = x'_0$ ナラバトナル。コレヨリ $F(f) = f(x_0)$

が任意ノ $f \in \bar{E}$ ニ對シテ成立スルコトヲ知ル。